

令和 7 年 10 月 26 日執行
牧之原市議会議員選挙 選挙公報集

令和 7 年 10 月 19 日に告示された「牧之原市議会議員選挙」につきましては、立候補者が議員定数と同数の 16 人であったため、無投票選挙となりました。

無投票となった場合、立候補者が市民の皆様に公約などを訴える機会がなく、また選挙管理委員会が取りまとめる「選挙公報」は、法令の規定上、発行されません。

「選挙公報」は立候補者の思い・公約・政見などについて知ることができる情報であることから、無投票選挙であっても市民の皆様に提供すべきであると考え、市議会では、「選挙公報集」として、市 HP で公開することといたしました。

立候補者が提出した「選挙公報」を、届出順に掲載しておりますので、ぜひ多くの市民の皆様にご覧いただければ幸いです。

※この選挙公報集は候補者から提出された原稿をそのまま使用しています。

※以下のような行為は公職選挙法違反になる恐れがありますので、ご利用の際はご注意ください。

- ・この「選挙公報集」をプリントアウトし、不特定多数又は多数の者に頒布すること。
- ・候補者及び確認団体以外のものが、この「選挙公報集」のデータを添付した電子メールを送信すること。
- ・特定の候補者等の「選挙公報」のみを抜粋して添付した電子メールを送信すること。

牧之原市議会事務局

住 所 静岡県牧之原市相良 275 番地

T E L [0548-53-2650](tel:0548-53-2650)

F A X 0548-52-1116

E-mail gikai@city.makinohara.lg.jp



名波かずあき

昭和三十二年七月十日生（六八歳）

牧之原市の未来につなぐ！

「安全に暮らせるまちづくり」

- ・ 津波・地震・自然災害対策
- ・ ライフライン・通信インフラの充実
- ・ 災害弱者の支援

「安心して暮らせるまちづくり」

- ・ 子育て家庭への支援策の充実
- ・ 移住者・若者向け住居設備補助の充実
- ・ 高齢者・要配慮者支援の充実

「暮らしが安定するまちづくり」

- ・ 雇用・仕事の確保と多様化
- ・ 農業・商工業・観光・介護・ICTなど
地域資源を生かした仕事の創出
- ・ 医療・福祉の安定

を推進していきます

皆様の声をまっすぐ議会へ
安心、安全な活気ある未来に！

ずっと暮らし続けたいなるまちへ！

安心して暮らし続けるために！

働ける環境づくりへ！

来て良し、住んで良し！

まじめに真剣に
よく働き、よく学ぶ
自分を知り、わきまえる
他人に奉仕する心

大井川の水と豊かな自然を守るために！

笑顔で輝くまちを目指します



鈴木長馬

至誠 勤労

おさめ

誰もが安心して暮らせるまちを目指します!



公明党公認

松下 重典

(波津在住)

愛する郷土・牧之原市の発展のため、初当選以来、人との出会いを大切に、ひとりの声を聴きながら「みんなの笑顔が輝くまち」を目指して活動をしてまいりました。

そのふるさとが、このたび大変な災害に見舞われてしまいました。この災害から一日も早く立ち上がらなければなりません。

今後、皆さまのお声を伺い、公明党のネットワーク力を最大に活かしながら、一生懸命に取り組んでまいります。



●地震・豪雨などの災害対策の強化に取り組みます。

●橋や道路、上下水道などインフラ整備を推進します。

●健康増進と生活習慣病予防を推進します。

●子育て・教育支援の充実に取り組みます。

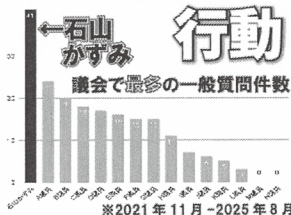
◎町立相良中学校卒業 静岡鉄道(株)、しずてつジャストライン(株)に勤務

◎公明党牧之原支部支部長 牧之原市議会議員1期4年

総務建設常任委員会副委員長

◎防災士(日本防災士機構)、保護司

4年間牧之原市議会議員として 牧之原市のために活動してきました



行動

財政力

私の質問で創出した牧之原市の収入

3,000万円



政策実現

私の質問から実現した政策

- ①地域おこし協力体民間活用 ②事務事業評価の公表 ③地域によるこども食堂
- ④広報誌広告収入事業 ⑤外国人相談窓口開設 ⑥外国人児童初期支援事業
- ⑦スポーツ合宿補助金 ⑧民間イベント補助金 ⑨ひとり親家庭養育費補助金

引き続き、石山かずみ30歳に 議員活動させてください！！

- ◆住みたいまち No.1 のまちづくりを目指します！
- ◆幅広い世代（若者～高齢者）のために働きます！
- ◆民間の力を地域活性化に活かす取組をします！
- ◆市民の安全のため、防災・減災に力を入れます！

【簡単なプロフィール】 栃木県出身、群馬高専・九州大学卒業、
小中高生向け学習塾の運営、市内の方と結婚、令和の虎出演&ALL 達成



無所属
30歳
石山和生

牧之原市の未来のために

「消滅可能性都市から、“希望創造都市”へ」 を合言葉に

- ◆ 若者・子育て世代が住み続けられるまちづくり
 - ・若者が住む魅力ある地域づくりを進める。
 - ・公園及び公共施設の整備を進める。
- ◆ 空き家の利活用による地域活性化
 - ・空き家を“地域の資源”に変える仕組みをつくり。
 - ・空き家を活用した“地域の居場所”をつくり。
- ◆ 市民とともに
 - ・市民の声を聴き、誠実に取り組む。

「市民が動かす、まちの未来」を目指します



菅沼

無所属

保弘

やすひろ

新人

六十九歳

私たちの仕事

OUR WORK



小さな声
こえ に耳をすませる政治へ

海
うみ とまちの記憶を次の世代へつなぐ

人ひと
生のステージに働き方を

子
たから どもたち1人ひとりに

光が届く教育を

まち
文化とスポーツが息づく街へ

1975年10月生まれ旧相良町須々木育ち
自己実現のため沼津、小笠原諸島、オーストラリア等を経て大好きな相良に戻る

S h i n o z a k i A k i k o

誰にでも
やさしい
牧之原



無所属

しのざき
あきこ

49
歳

あなたの一言からはじまる まちづくり

ありのままを認め合う社会を創る

地域のありたい姿

「ありのままを認め合うやさしい社会」を「地域のありたい姿」ととらえ、その社会実現のため、▷「命を大切にする」▷「やりたいことに『チャレンジ』できる」▷「誰一人取り残さない社会」▷「小さな『つながり』のチカラ」という四つの視点から、諸課題を解決していける取り組みを推進します。

略歴

(元)牧之原市政策協働部部長

・早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員

(現)・保護司



牧之原市切山四〇二番地一 (68歳)

加藤あきら

無所属

台風15号竜巻により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

～絹村の推進プロジェクト～

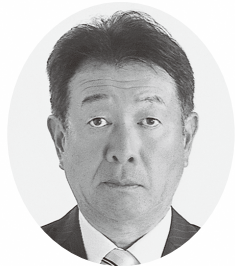
- ①災害対策強化と竜巻被害の早期復旧と復興
- ②福祉の充実
- ③人口減少、少子高齢化対策
- ④地域産業活性化と振興
- ⑤学校再編と教育環境の充実
- ⑥沿岸部活性化とスポーツ振興

★市民のために全力で取り組みます★

～市議1期4年の実績～

- | | |
|------------------|------------------|
| ●災害協力井戸制度の導入 | ●バス停自転車転倒防止ラック設置 |
| ●市民生活道路約 50箇所修復 | ●公園、市文化財の保護・整備 |
| ●静波海岸整備,自由の女神像修復 | ●野球サブグラウンド整備 |
| ●女子ソフトボール大会継続誘致 | ●こども食堂サポート など |

略歴 2025 牧之原市災害ボランティアコーディネーター会員
2024 牧之原市ソフトボール協会副会長



実行力の

絹村ともあき

昭和40年11月3日（59歳）

台地の息吹を市全体に！

牧之原に耀く未来を開きます！

出なわようこ 重点政策

スローガン——

■市民と行政の
かけはし

■老若男女が
イキイキ
幸せ未来

■小さな一歩
台地から

女性
活躍

女性が安心して子育てができ
社会で役割を担える環境の整備

防災力

みなが高い防災意識で自らを守り、
ともに助け合う仕組みの構築

新産業
育成

若者が魅力を感じて集まってくる
新しい産業の育成

未来を
見据えた
教育

牧之原で教育を受けさせたいと思える
ような魅力ある学校教育の提供

健康
長寿

高齢者が生き生きと社会の中で耀くことが
できる地域の実現

< 略 歴 >

兵庫県生まれ、広島県育ち。

進学塾ヨダゼミの教室長兼講師を経て、1993年に大阪府でイーティーシー研究所（個人事業）を創業。30年近く人事コンサルタントとして中小企業経営者をサポート。講演も多数。1995年に阪神淡路大震災を経験。ボランティア活動に従事し多くの教訓を得る。寝屋川青年会議所理事、青年会議所大阪ブロック協議会役員を歴任。2022年より出縄良人税理士事務所に所属。2023年より同事務所運営の「まきのはらインキュベーションセンター」アシスタントマネージャーに就任（現任）。2024年よりテアトルアカデミー名古屋校に在籍。



出縄良人税理士事務所職員

出なわようこ

無所属

すべての声に耳を傾け、ともに進む



あなたの声を、未来の力に

たにぐち

谷口しげよ

昭和52年5月5日生 四十八歳

子育て世代も高齢者も農業従事者も若者も、願いは同じ「安心して幸せに暮らせるまち」。

だからこそ、私はこれからも「声に寄り添う議員」でありたい。皆さま一人ひとりの声を力に、ともに未来を築いていきます。

① 声からはじまる「まちづくり」
想いに寄り添い、ともに動く

② 教育・子ども支援

「地域みんなで育てる」まちへ

③ 農業・地域経済の活性化

「暮らしと命を支える産業」を未来へ

④ 自立したまち経営で、未来をつくる

地域資源と企業をつなぎ、持続可能な経済へ

⑤ 未来への責任

誰もが安心して暮らせる持続可能な地域社会へ

経歴 榛原高等学校、日本大学経済学部卒
大石農園代表取締役、牧之原市議会議員



原口やすゆき

昭和38年8月(62歳)

地域・未来を守る

健康で明るいまちづくり

持続可能な地域にするためには、安心・安全

働く世代の職場の確保、良い子育て環境が必要

です。これらは、家庭を営む上でも同様です。

私は、2期8年間、人口減少と向き合い課題に

取り組んできました。一層邁進を誓います。

チャレンジ つくろう牧之原の未来！！



がんばろう まきのほら！

木村まさとし

牧之原市細江三三四〇

昭和三十三年三月二十八日（68歳）

台風15号竜巻災害にて、被害に遭われた
方々に心よりお見舞い申し上げます。

私の未来づくりの3つのプラン

- ◎ 安心して暮らせる地域防災
- ◎ 子育て支援と教育環境の充実
- ◎ 地域の特性を活かしたまちづくり

4年の活動実績を更に深め 高齢者のため
これからのまきのほらを担う子供たちに
「幸せ」を届ける活動を進めてまいります。

〔略歴他〕

- ・ 榛原高等学校卒業（26回） ・ 近畿大学商経学部卒業
- ・ 牧之原市議会議員（一期）
- ・ 一級土木施工管理技士 ・ 準傾聴療法士
- ・ 防災士 ・ ハラル管理者 ・ ふるさとプロデューサー
- ・ 坂口谷川右岸左岸を守る会メンバー



未来へつなぐ力

はまざき

浜崎かずき

無所属 (五十七歳)

守り、育み、未来へ
市民とともに、
安心のまちづくり



◎私が目指すもの！

- ▼安全で安心できるまちづくり
- ▼活力あるまちづくり
- ▼思いやりのあるまちづくり
- ▼みんなでつくるまちづくり
- ▼教育・文化芸術・スポーツ振興の
まちづくり

市民の声を原動力に、守り、育み、
未来へつなぐ力となります。
災害に強く、安心して暮らせるま
ちを市民と共に築き、次世代へ誇
れる牧之原を実現していきます。

(地域などでの活動歴) 川崎小PTA会長、榛原中PTA副
会長、まちづくり協働ファシリテーター、牧之原市社会教
育委員、榛南JC理事、川崎地区絆づくり共同代表

「海と茶畑に囲まれて、

ちょっと元気になれるまち」

牧之原は、海のきらめきと茶畑のやすらぎがあります。このまちで、もっと多くの人が“ちょっと元気になれる”ような取り組みを進めています。

海と台地の恵みを活かし、

地域の魅力を育てます
スポーツ大会などを気持ちよく

開催できる環境を整えます
人が訪れ、交流が生まれる、

にぎやかで温かな観光のまちを目指します



無所属
萩田 信行
おぎ た のぶゆき

すべての人に向けた街づくりを

先輩世代に

不安のない医療、介護、環境

医療や施設、そして集会所や公園を見直し、
引退後に安心していつまでも暮らせる環境を整えます

現役世代に

子育てと家庭の支援、防災対策

18歳までの医療費の補助を目指します。先日の
災害をいつまでも忘れることなく、万一の際にも
すみやかな安全対策と支援を行える行政を目指します。

未来の世代に

きめ細かい教育環境と安全を

教育環境の改善で、街の将来を担う世代を大切に
街づくりを。子供が安全に暮らせる治安を守ります

市政のIT化を促進

・ITによる効率化で費用の削減を。いつでも
アクセスできるオープンな市政を。ITの苦手な方も

取り残さない仕組みを目指します

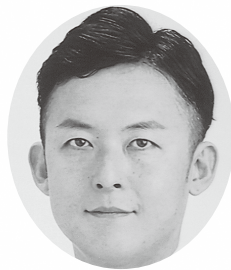
略歴

1986年8月18日生まれ、牧之原市出身 細江在住
早稲田大学卒/ユニバーシティカレッジロンドン留学経験有
ネット通販会社代表
後援会や推薦所属などなく妻と2人で選挙に挑戦しています

私は牧之原市出身で18歳で静岡を離れ、現在は再び
この地で暮らしています。豊かな自然とお茶などの
特産物、国道が走り空港もあるこの街に大きな可能性が
あると感じています。みなさんと一緒に住みやすい街を
つくりたい。よろしくお願いいたします



©MAKINOHARA.HAJIMEYOU



新人、無所属

中山なおひろ

昭和61年8月18日生 39歳

元気！＋安心！＋安全！＝牧之原市の将来

①**最優先課題**：昨今続いている竜巻等の自然被害（応急処置）を第一に考え、国・県以外の市レベルでしか行えないことを優先する。

②**目標**：高齢者・福祉・障がい者の対策：医療費を一定の年齢まで市の負担、所得に応じた商品券等の配布。又、4K（きつい・汚い・危険・低給料）にもあたる介護職員等の処遇改善手当ての額を一部補填し、職員離れに歯止めを掛ける。又、将来を見据えた場合、高齢者の方々が多くの割合を占める。従って、重度な介護度が見て認められる方には、市から商品券等の商品券等の追加補填を考える。

強い防災と減災：牧之原市の大半は平面が多い、且つ、自然災害（津波竜巻等）の被害を最小限食い止めるため避難タワーの増設（一人でも尊い命を救うため避難タワーなどを作り安心安全に寄与）

企業の誘致：雇用の促進に寄与（企業を誘致すればみんなが潤い、安心安定した生活基盤を構築できる）

③**信念**：原発反対路線：人の雇用の問題も出てくる（ただ単に原発廃止路線ではない。例えば、地球にクリーンな発電にシフトしていけば補える。今でも補えているのが現状、費用対効果を考える）併せて、空港に近いことから、海外の方々に牧之原に来てもらえるような施策の検討、従って経済は周り潤う

④**略歴**：杏林大学卒業 明治大学科目等履修生終了
航空自衛隊・矢崎総業・矢崎部品・社会福祉法人



無所属
昭和46年8月29日生
はたまさゆき
畑政之